

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--|------|---|---|----|-------------|
| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 保健 | 単位数 | 1 | 対象 | 2学年 HR21～26 |
| 担当者 | 波多野静、鈴木聡、山田康博 | | | | | | |
| 使用教科書 | | | 使用教材 | | | | 年間授業時数 |
| 現代高等保健体育改訂版（大修館書店） | | | | | | | 39 |
| 学期 | 月 | 指導内容 | | 指導目標 | | | 時数 |
| 1 学 期 | 4 | ・オリエンテーション ・思春期と健康 | | ・学習目標・内容、評価方法について説明する。 ・思春期の体と心の両面の変化を学び、思春期の健康課題について考えられるようにする。 | | | 15 |
| | 5 | ・性意識と性行動の選択 ・結婚生活と健康 | | ・男女差の理解と異性を尊重する態度を学び、性にかかわる意思決定と行動選択ができるようにする。 ・人生の大きな出来事である結婚について、健康面からも考え、結婚生活と家族への責任についても学ぶ。 | | | |
| | 6 | ・妊娠出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶 | | ・受精、妊娠、出産について正しい知識を学び、妊娠、出産期の健康とパートナーへの配慮の必要性を学ぶ。 ・家族計画と正しい避妊法について学び、望まない妊娠を避けられるようにする。 | | | |
| | 7 | 期末考査 | | 基本的な知識・理解の定着を評価する。思春期の健康課題、結婚や妊娠・出産にともなう問題について考察し、考えを表現できるようにする。 | | | |
| 2 学 期 | 9 | ・加齢と健康 ・高齢者のための社会的取り組み | | ・加齢に伴う心身の変化、中高年期を健やかに過ごすための生活習慣や自己管理について理解する。 ・高齢者の健康課題と保健・医療・福祉の連携による社会的支援・取組について理解する。 | | | 17 |
| | 10 | ・保健制度とその活用 ・医療制度とその活用 ・医療品と健康 ・さまざまな保健活動や対策 | | ・保健医療制度とその役割、活動について知り、地域の保健医療機関のサービスを適切に活用できるようにする。 ・医薬品の特性、種類と正しい使用法を理解し、副作用や安全性の対策、薬害について学ぶ。 | | | |
| | 11 | ・大気汚染と健康 ・水質汚濁・土壌汚染と健康 ・健康被害の防止と環境対策 ・環境衛生活動の仕組みと働き | | ・環境汚染（大気、水質、土壌など）と健康被害、公害と地球規模の環境問題について学ぶ。 ・健康被害の防止対策や環境衛生活動（ごみ処理、上下水道整備）について、日常生活から考えられるようにする。 | | | |
| | 12 | 期末考査 | | 基本的な知識・理解の定着を評価する。生涯を通じる健康（高齢者、保健医療）、社会生活と健康（環境衛生）について考察し、考えを表現できるようにする。 | | | |
| 3 学 期 | 1 | ・食品衛生活動のしくみと働き ・食品と環境の保健と私たち | | ・食品の衛生管理、安全性の確保について、重要性やしくみを理解する。 ・食品の安全（食品表示、食中毒防止）を確保するため、消費者として注意すべきことや、環境負荷を減らし循環型社会を推進する行動について考える。 | | | 7 |
| | 2 | ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 | | ・働き方と健康問題の変化（生活習慣病、精神的ストレスなど）について理解する。 ・労働災害、職業病の要因と防止対策、安全健康管理について理解する。 ・職場での心と体の健康づくり、余暇の有効活用について考える。 | | | |
| | 3 | 学年末考査 | | 生涯を通じる健康、社会生活と健康について、基本的な知識・理解の定着を評価する。社会生活と健康（食品衛生、労働・職業生活）について考察し、考えを表現できるようにする。 | | | |
| 評価の観点 | | | | 評価の方法 | | | |
| 知識・技能 | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。生涯を通じる健康、健康を支える社会づくりについて理解を深める。 | | | ワークシート、小テストや定期考査により、知識・理解の定着度を評価する。 | | | |
| 思考・判断・表現 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断できる。目的や状況に応じて他者に伝える力を身に付ける。情報から課題を発見し、解決の方法を思考・判断できる。 | | | 課題レポートの提出による評価（調査・考察の内容、出来ばえ）、授業内レポート 授業での発言、発表などで、自分の考えをまとめ表現する。グループ学習での協調・統合 | | | |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度が養われている。 | | | 教科書、ノートなどの準備、注視や聴く姿勢など、授業に臨む態勢・態度。関心をもち意欲的に取り組んでいるか。発問への反応や発言。主体的に調査、実践する態度。（レポート、ノート、ワークシート） | | | |